

●施策名

【施策1】子どもたちの豊かな心をはぐくみます

(関連指標：指標1～指標12 (P51～P52))

- i 道徳教育の充実
- ii 体験活動の推進
- iii 少人数教育によるきめ細かな指導
- iv 教育相談体制の整備
- v いのちやこころを大切にする性に関する指導の充実
- vi 男女共同参画社会の形成に向けた教育の推進
- vii 幼児教育の推進
- viii 子どもの読書活動の推進
- ix 豊かなこころを育成するための普及啓発活動の推進

●代表的な取組の進捗状況

i 道徳教育の充実

○ 道徳教育総合支援事業

学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及することにより道徳教育の充実を図る。

(H26実績)

- ・ 道徳教育推進校を指定し、推進校の授業公開や地区別協議会での実践研究発表を行った。
- ・ 「ふくしま道徳教育資料集第Ⅲ集『「郷土愛・ふくしまの未来へ』』を作成し、公立小・中学校及び県立学校すべてに配布し活用を促した。



道徳資料集第Ⅲ集
「郷土愛・ふくしまの未来へ」

ii 体験活動の推進

○ 児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進

特別活動や総合的な学習の時間などにおいて、児童生徒の発達段階に応じた体験活動やさまざまな交流活動などを行うことにより、学ぶ意欲や自立心、思いやりのこころ、規範意識などを身につけさせる。

(H26実績)

各学校に「体験活動等推進委員会」を設置し、児童生徒の主体的な体験活動への取組を促進した。

iv 教育相談体制の整備

○ スクールカウンセラー等活用事業

児童生徒の問題行動や不登校等を未然に防止するために、個々の生徒の状況を早期に対応するとともに、教職員の教育相談の資質向上を図る。また、東日本大震災で被災した生徒等の心のケアに当たるためスクールカウンセラーを配置する。

(H26実績)

スクールカウンセラーを派遣し(小学校 106校、中学校 224校、高等学校 93校、特別支援学校 2校)、児童生徒の心のケア及び生活のケアに当たった。

	<p>○ いじめ対策等生徒指導総合推進事業 生徒指導上の諸課題(いじめや不登校を中心とした)についての調査研究を行う。 (H26実績) 県協議会を2回実施し、教育相談担当者協議会及びいじめ等対策担当者協議会を、小・中・高校教員を対象に7教育事務所で実施した。また、SNS いじめ等研修会を3回開催した。</p>
v	<p>いのちやこころを大切に性に関する指導の充実</p> <p>○ 夢をはぐくむいのち生きいきプロジェクト事業 「性に関する指導の手引」を活用し、効果的な性に関する指導が実施されるよう指導者の資質向上を図る研修会を開催する。 (H26実績) いのちいきいき研修会を1回開催した。(参加者数 807名)</p>
vi	<p>男女共同参画社会の形成に向けた教育の推進</p> <p>○ 「みんなで築こう男女共同参画社会」公開事業 男女共同参画に関する公開授業を行うことにより、児童生徒、保護者、地域住民等の男女共同参画社会についての理解を深める。 (H26実績) 4地区8校において、男女共同参画に関する公開授業(総授業参観者数128人)を実施し、児童生徒及び保護者・地域住民に対し、児童生徒等の男女共同参画社会についての理解を深めた。</p>
vii	<p>幼児教育の推進</p> <p>○ 幼児教育の振興 幼児教育が総合的に推進されるよう、県の就学前の子どもの保育・教育の在り方についての指針である「うつくしまっ子幼児教育振興ビジョン」をもとに、市町村教育委員会や幼稚園等に助言等を行う。 (H26実績) 県内6地区で実施された県大会各ブロック研究協議会において、公開保育や研究発表に参加し、保育の実施や、国や県の動向について、助言等を行った。また、教育課程研究協議会(県内6地区開催)では、幼小接続や体力向上について講話や演習を行った。</p>
viii	<p>子どもの読書活動の推進</p> <p>○ 子どもの夢をはぐくむ読書活動推進事業 子どもの読書活動推進に向けて、関係機関と連携した取組を実施するとともに、各地域で活躍できる読書活動支援者の資質向上を図る。また、経験者においては、発達段階における講座を受講させ、さらに専門的な知識・技能の向上を図り、自立的・自発的な研修会ができるよう支援していく。 (H26実績) 人材育成基礎研修に県内7地区で386名、ステップアップ研修に県内4地区で259名の参加があった。講義や演習を通じてボランティアとしての資質向上を図った。また、受講者にボランティア登録を呼びかけ、県内の各市町村教育委員会に依頼し、活用を要請した。</p>

ix 豊かなこころを育成するための普及啓発活動の推進

○ 「ふくしま子ども宣言」推進事業

ふくしま子ども憲章を家庭や学校に貼り出す。併せて、作文コンクールを実施し、取組を積極的にPRする。

(H26実績)

県内及び震災等により県外に避難している小学6年生を対象に「ありがとうの気持ちを忘れない」をテーマに作文コンクールを実施した。(応募数2,434作品)

最優秀1作品、優秀4作品を選定し、11月1日「ふくしま教育の日」に開催された「教育フォーラム」にて表彰式及び作品の披露を行った。

●問題点・改善等が必要な項目

① 道徳教育の充実

- ・ 地域の実態に応じた実践の不足。道徳教育推進校への支援が不十分。
- ・ 本県独自の道徳教育資料の活用促進。

② 体験活動の推進

- ・ 体験活動やボランティア活動時間の確保が困難。

③ 教育相談体制の整備

- ・ スクールカウンセラー配置の拡充及び資質向上。
- ・ 新たな不登校児童生徒の発生抑制及び復帰率の改善。

●取組の方向性

① 道徳教育の充実

- ・ 各学校が主体的に取り組むため、外部講師の派遣、道徳教育研修の地区別開催等、保護者、地域と連携しながら地域に根ざした道徳教育を推進していく。
- ・ 本県独自の道徳教育資料について、研修会の実施、指導事例の周知等を通して活用促進を図っていく。

② 体験活動の推進

- ・ 子どもの心身ともに豊かな成長に資するため、体験活動や読書活動の推進及び総合的な学習の時間等の充実のための指導・助言を行っていく。

③ 教育相談体制の整備

- ・ 子どもたちの悩みなどに適切に対応し、いじめ等の問題の未然防止や早期発見が可能となるよう、教員を対象とした教育相談研修の充実を図る。
- ・ 日本臨床心理士会や、福島大学子どものメンタルヘルス事業と連携し、スクールカウンセラーの資質の向上を図る。
- ・ つなぐ教育における小中交流活動により中1ギャップ解消に努める。